

東アジアの危機と 日韓関係の行方

東アジアの脆弱な平和の行方とは。
現在、我々が直面する国際関係の危機の構造をあぶり出し、
東アジアの核なき平和を模索します。

日時

2019年11月16日(土)
13:30~17:30(開場13:00)

場所

広島市文化交流会館
会議室ルミエール

広島市中区加古町3-3 (加古町バス停から徒歩1分)

入場
無料

先着

100名

事前にご記入
お申し込みください

■主催/広島平和研究所

■後援/駐広島大韓民国総領事館

プログラム

PART
1

危機の日韓関係

歴史の記憶と日韓関係

陳 昌洙 (世宗研究所)

日韓関係の現状と課題

南 基正 (ソウル大学)

日韓関係の現状と課題

木村 幹 (神戸大学)

討論者: 李 鍾元 (早稲田大学) 陳 昌洙 (世宗研究所)

PART
2

対北朝鮮制裁の 現状と課題

国連の対北朝鮮制裁の現状と課題

宮本 悟 (聖学院大学)

日米韓の対北朝鮮制裁の現状と課題

孫 賢鎮 (広島平和研究所)

北朝鮮の核開発と米朝首脳会談の行方

太田昌克 (共同通信社)

討論者: 佐藤哲夫 (広島平和研究所)

■総括: 大芝 亮 (広島平和研究所)

■モデレーター: 河 旻珍 (広島平和研究所)

■お申し込み先: 広島市立大学 広島平和研究所

TEL: (082)830-1811 FAX: (082)830-1812

E-mail: office-peace@m.hiroshima-cu.ac.jp

PART 1

危機の日韓関係



陳 昌洙 (チン・チャンス)
世宗研究所首席研究委員

西江大学政治外交学科卒、東京大学大学院国際関係論修了（政治学博士）。韓国屈指の日本研究者として知られる。著書に『日本の政治経済』など多数。



木村 幹 (きむら かん)
神戸大学大学院国際協力研究科教授

京都大学にて博士号（法学）取得。専門は朝鮮半島地域研究。著書に『日韓歴史認識問題とは何か』（ミネルヴァ書房）ほか。サントリー学芸賞、読売・吉野作造賞他受賞。



南 基正 (ナム・キジョン)
ソウル大学日本研究所教授

ソウル大学外交学科卒、東京大学大学院総合文化研究科にて博士号（国際関係論）取得。日本語、英語、韓国語による著書、学術論文も多数ある。



李 鍾元 (リー・ジョンウォン)
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

東京大学にて博士号（法学）取得。立教大学教授、北京大学招聘教授等を歴任。専門は東アジアの国際関係論。著書は『戦後日韓関係史』（有斐閣アルマ）ほか多数。

PART 2

対北朝鮮制裁の現状と課題



宮本 悟 (みやもと さとる)
聖学院大学政治経済学部教授

東京大学客員研究員。神戸大学にて博士号（政治学）取得。2016年4月より現職。著書に『北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか？』（潮書房光人新社）ほか。



太田昌克 (おおた まさかず)
共同通信社編集委員・論説委員

早稲田大学・長崎大学客員教授。政策研究大学院大学博士号（政策研究）取得。核に関する取材を重ね、ポーン・上田記念国際記者賞、平和・協同ジャーナリスト基金賞大賞受賞。



孫 賢鎭 (ソン・ヒョンジン)
広島平和研究所准教授

神戸大学にて博士号（公共関係法）取得。韓国統一部事務官（北朝鮮人権、拉致問題担当）、韓国法制研究院研究員を経て2014年4月より現職。専門は国際法、北朝鮮問題。



佐藤哲夫 (さとう てつお)
広島平和研究所教授

一橋大学大学院法学研究科教授を経て、2018年4月より現職。専門分野は国際法、国際組織法。著書に『国際組織法』、『国連安全保障理事会と憲章第7章』（有斐閣）。

総 評



大芝 亮 (おおしば りょう)
広島平和研究所長

米国イェール大学大学院Ph.D.（政治学）取得。一橋大学法学部教授、青山学院大学国際政治経済学部教授を経て、2019年4月より現職。専門分野は国際関係論。

モデレーター



河 炅珍 (ハ・キョンジン)
広島平和研究所准教授

東京大学にて博士号（学際情報学）取得。専門は社会学、メディア・コミュニケーション。東京大学大学院情報学環特任助教を経て、2018年10月より現職。

会場へのアクセス



広島市文化交流会館 (中区加古町3-3)

※広島バス24号線「加古町」バス停から徒歩1分。
※公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。